東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2007年4月6日

アッラーの私たち人間に対する恵み

ムスリムの皆様。偉大なるアッラーはイブラーヒム章第３４節おいて仰せられておられます。

「またかれはあなたがたが求める、凡てのものを授けられる。仮令アッラーの恩恵を数えあげても、あなたがたはそれを数えられないであろう。人間は、本当に不義であり、忘恩の徒である。」

ムスリムの皆様。偉大なるアッラーの私達人間に対する恩恵、恵み、親切さ、これらはあまりに多く、数えられないほどです。ただ私達がしなくてはならないことは、自分の無力感を認識し、真の所有者をその恵みから熟考し、服従し、感謝することです。本日のホトバにおいては、アッラーが与えられた様々な恵みを、神聖なメッセージである聖クルアーンから取り上げたいと思います。アンナフル章第７２節において「またアッラーはあなたがたのために、あなたがたの間から配偶者を定め、配偶者からあなたがたのために子女や孫を与えられる。また良いものを与えられる。それでもかれらは虚偽を信仰して、アッラーの恩恵を拒否するのか。」またアンナフル章第７８節において「アッラーはあなたがたが何も知らない時、あなたがたを母の胎内から生まれさせ、聴覚や視覚や心（知能感情）をも授けられた。必ずあなたがたは、感謝するであろう。」と仰せられておられます。雌牛章第２２節において「（かれは）あなたがたのために大地を臥所とし、また大空を天蓋とされ、天から雨を降らせ、あなたがたのために糧として種々の果実を実らせられる方である。だからあなたがたは（真理を）知った上は、（唯一なる）アッラーの外に同じような神があるなどと唱えてはならない。」とあります。偉大なるアッラーはナフル章第６６、６７、６８、６９節において「 また家畜にもあなたがたへの教訓がある。われはその腹の中の雑物と血液の間から、あなたがたに飲料を与える。（その）乳は飲む者にとり、清らかであり（喉に）快適である。またナツメヤシやブドウの果実を実らせて、あなたがたはそれから強い飲物や、良い食料を得る。本当にその中には、理解ある民への一つの印がある。またあなたの主は、蜜蜂に啓示した。「丘や樹木の上に作った屋根の中に巣を営み、（地上の）各種の果実を吸い、あなたの主の道に、障碍なく（従順に）働きなさい。」それらは、腹の中から種々異った色合いの飲料を出し、それには人間を癒すものがある。本当にこの中には、反省する者への一つの印がある。」と仰せられておられるのです。

ムスリムの皆様。上記において取り上げた幾つかの節では、アッラーが人間に対して示された多くの恵みの中の、ほんの僅かの部分を紹介しているに過ぎません。私達に必要なのはアッラーの恩恵が如何にありがたいもので有るかを認識し、その意味について考察することです。